

N95 マスクの種類を増やしました

結核などの空気感染対策をする際は、空気中の結核菌などを吸い込まないように、N95 マスクを着用します。現行の1種類2サイズでは合わない職員がいるため、よりフィット性の高いマスクを導入しました。



顔のカーブに合わせたクッションにより、高いフィット性が得られる。

しめ紐の長さ調節が可能

N95 マスクのフィットテストを行いました

N95 マスクのフィットテストを院内で行っており、先日5東病棟で医師を含む33名の職員がテストを行いました。今後も随時行っていきます。



【フィットテスト】(自分に合うマスクを選びます)

- ① まずはアヒル型の2サイズで顔の大きさに合わせてレギュラーとスモールのどちらかを選択します。
- ② 次に顔面にフィットしているか、空気漏れが無いかを機械の数値で測定する「フィットテスト」で確認します。空気漏れが多い場合は、マスクを微調整し再測定、又はサイズを替えて測定します。
- ③ アヒル型のどちらもフィットしない人は、クッション付きのお椀型で測定します。それでも漏れる場合は、内側のクッションの微調整と紐の長さを調節してフィット性を高めます。

【シールチェック】(使用時に、空気漏れが無いかを確認します)

マスクを両手で完全に覆って息を吐き、マスクの周囲からの息漏れが無い事を確認します。

- ✦ N95 マスクを装着する時は、必ず鏡で装着を確認しながら、シールチェックを行ってください。

空気感染対策時、

患者専用のマスク「うつさんぞ」も導入しました！

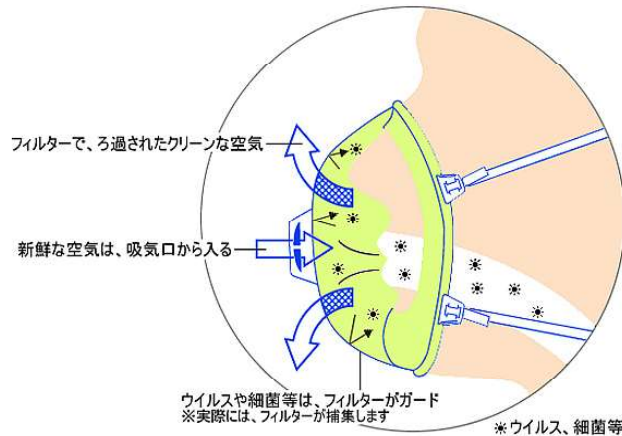
↓「うつさんぞ」は患者専用です！



結核（疑い含む）患者さんがレントゲン・CT室などに行く際、装着します。

●「ハイラックUTSUSANZO」の特長（詳細）

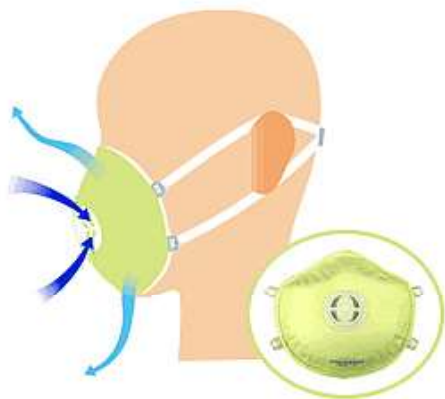
■ウイルス・細菌等の拡散を防ぐ（モデル図）



（出典；楽天市場より）

感染させないためのマスク

ウイルス・細菌等の拡散を防ぐためのマスク。



フィルターを通して息を吐く

- 吐く息に含まれるウイルス等をフィルターでろ過する。
- 吸気口から息を吸うため、楽に呼吸ができる。

（出典；楽天市場より）

【運用方法】

① 職員用 お椀型N95マスク

フィットテスト実施後、このマスクの着用を許可された人に、感染制御室から2個支給します。濡れたり形が崩れなければ、約1週間使用できます。1個廃棄した際は、感染制御室に取りに来てください。

② 患者用「うつさんぞ」

《対象患者》；

「麻疹、結核、またはその疑いがあり、ER・救急総合外来または陰圧隔離室から出て、CT等の検査室に行く必要のある人。（ただし、酸素マスク着用者は除く）」

救急総合外来の「中央処置室」に配置し、対象患者1人に1個支給します。退院するまで使用できます。

ICT

院内感染はスタッフの力で予防できる疾患です。

TEL 011-782-9111（内線 2208 感染制御室内） FAX 011-783-3229